

**平成20年度高教研学校図書館部会
備前支部協議会司書部会研修会(第2回)報告**

日時：平成20年6月24日(火) 10:00~16:00

会場：岡山朝日高等学校 会議室

参加人数：30名

1. 開会
2. 挨拶 (岡山朝日高等学校 板谷 正夫 校長)
3. グループ研修：授業との連携について(前半)
各グループにわかれて研修

4. 資料研究・おすすめ本の紹介

工業・情報分野

(理大附属・東岡工・一宮・操山・岡工・城東)

1. おすすめの本の紹介

- ・サイエンスアイ新書がおすすめという意見が出た。

2. 工業・情報分野の問題とアドバイス

①工業の分野の困った点

- ・どういったレベルの本を選んだらいいのか分からない
- ・先生に生徒向けの推薦図書を出してもらっても、生徒が読まない

→アドバイス

- ・生徒と一緒に本の買い出しに行って、好きな本とは別に一冊専門科のおすすめの本を出してもらう
- ・レファレンス記録をとっておいて、後に関連のある本を購入する
- ・生徒に実習で何をしているかなど聞いてみる

②情報の分野の困った点

- ・選書が難しい
- ・どこの出版社のものを選んだらよいか分からない

→アドバイス

- ・実際に授業を見学してみてもどうか
- ・分からないことは生徒に聞いてみる
- ・カラーのものが生徒には見やすい
- ・書店で現物を見てみる
- ・グループごとに直接書店に出かけて、その場で話し合うような研修をしてみてもどうか

商業分野

(岡山東・岡山南・西大寺・就実・倉敷鷺羽・玉野光南・興陽・商大附)

(悩み) 特殊な分野や資料が少ない分野、自分が分からない分野について、

本を購入(収集)する上での悩み

→資料を充実させるためには・・・

担任の先生、各教科の先生、専門家、知識を持たれている人に尋ねる

→キーワードとなる専門用語や生徒が必要としているものなど聞けることはすべて聞く

(悩み) どのように尋ねたらよいか・・・

→「どんな本が良いですか?」「いい本があれば教えてください」など、漠然とした質問では答えにくい。

→生徒が今どんなことを習っているのか。先生方が何を教えているのか。

キーワードとなる言葉から選書をする

特殊な分野では、生徒のレベル(教師から見た)に合わせて選書

→とにかく新しい本を入れないと動かない!

生徒に「この本入ってるんだ!」「こんなものもあるんだ!」と言わせるような棚作りをめざす!

(古い資料では価値がないものも多い)

新刊本の購入について

・SLBC や選書委員会(各課長、主任、担当の先生)をもっと活用する。

(悩み) 準備としてどのような資料を用意すれば良いか?

→新刊案内の資料やSLBCを・・・回覧→購入希望のあった図書を購入

→新刊なのに利用がない。すぐに利用はしないが図書館にあったらいいのでは?と希望。

または個人では買えない本を希望。

→もっと利用される図書購入につなげるためにはどうすればよいか?

ライトノベル・マンガ分野

(関西・瀬戸・御津・山陽女子・明誠学院・大安寺・邑久)

困っていること

- ・ライトノベル・マンガはどこまでいれていいのか?シリーズはどこまで入れ続けるのか?
- ・図書室を利用する生徒から一番リクエストが多いが、次々出版されるので内容の把握も難しい。
- ・表紙が学校図書館に向かないものが増えてきている。
- ・ライトノベル・マンガを置くことを嫌がる生徒もいるが、生徒の趣味を否定できない。

現状

- ・マンガはどの学校も入れていない。(エッセイマンガは除く)
- ・先生方と話し合い読まないよりはいいと多少入れている。
- ・リクエストが多いものから順番に入れている。
- ・生徒と一緒に買い出しに行ったときなどは、その場の判断で入れている。

解決案

- ・リクエストが少数のものは、県立図書館の搬送便を利用する。
- ・ライトノベルの棚に異なる分類(ファンタジー等)の本を置いてみる。
- ・偏ったものばかりでなくいろいろな分類に触れられる【スタンプラリー】を実施してみる。
- ・先生方と話し合い、学校としての考えを一貫して通すことも大切。

抜本的な解決案は出ませんでした。学校間で連携を深め、これからも話し合っていきたい。

小論文分野

(後楽館・白陵・玉野・朝日・芳泉)

- ・選書時に心がけていること
小論文の分野別、テーマ別に探す
- ・困っている点
小論文リストにあるが発行が古い

タイムリーな本がわかりにくい



進路の先生にリストをいただく。選んでもらう。

先生に関わってもらい、小論文コーナーを充実させる。



分野別、テーマ別に区切り設置すると、目的に合って利用しやすい。

(日本の論点・岩波ブックレット等広範囲に役立つ)

- ・ インターネットの各サイトに情報が網羅されている。

(今回のアンケート資料を参考)

5. グループ研修：授業との連携について（後半）

1) 授業を担当する先生方との意思疎通

- ・ 2グループにわかれ、それぞれ今後の方向性について話し合った。1グループは先生から授業をするという話があった時に司書が実際にどのように準備などしていけば良いかのフローチャートのようなものを作ってみようという事になった。

また、もう1グループは先生から授業をするという提案があった場合、司書はどのような事ができるかを表のようなものにしてわかりやすく提示できればと、表のようなものを作成してみる事になった。

2) 図書館の使い方（資料の調べ方）とマナー・生徒との意思疎通

- ・ 調べ学習のときに使えるワークシートの作成の前に司書自身のレベルアップが必要。
- ・ 調べ学習のレベルに合わせた資料の種類・特徴・使い方。
- ・ 情報へのアプローチの仕方を考える。
- ・ 正確な情報・実際使える資料の提示。
- ・ 先生とどのように授業を進めたいかなど連携する。
- ・ 環境問題キーワード「バイオマス」を例にレファレンスツールの有効な使い方を追求する。

◎次回、県立図書館で調べ学習についての研修を行う。

3) 図書館を使った授業の無い学校の取り組み・働きかけかた

☆効果的に働きかけるために年間行事予定・シラバスを知る

- ・ 各校の<図書館の取り組み>事例を参考に。今後も継続して記入。
- ・ 年間行事予定表に図書館関連の行事を組み込み、仮の図書館だよりを作成。
- ・ シラバスのどの箇所を展示などに生かせるか検討。

6. 連絡事項・その他

1) 次回オススメ本のテーマ

「写真・図鑑」・・・ 動植物の写真付き資料や、美術で使える資料など

2) 理事会報告（岡山東商業高校 大園）

H20年度第1回理事会（5/28倉敷南高校にて）の報告

- ・ 第37回岡山県学校司書研究協議会（倉敷大会）の閉会后、「語る集い（茶話会）」を開催
小・中・高の学校司書での情報交換ができる機会なので、ぜひ参加を！
- ・ 倉敷大会の出欠（閉会后、大園さんへ）本日以降の申し込は、各自で申し込み先へ
- ・ H21年度岡山県学校司書研修会について
- ・ 司書部会ホームページについて（新アドレス：<http://sisyo.gee.jp/>）

3) ネットワーク研究会より連絡（一宮高校 坂野）

- ・県立図書館搬送事業・利用集計の記録方法について
～しっかりと有効活用しましょう～

4) 大学図書館との研修会について（玉野高校 小橋）

- ・先日、メーリングリストに掲載があったお話。
- ・高校の図書館と大学の図書館、お互いの情報交換を目的とする。
- ・大学側への意見があれば、玉野高校 小橋さんへ連絡をする。

5) その他

- ・おすすめ本の書誌情報データは、岡山東商業高校の大園さんまでお願いします。

7. 閉会

～倉敷大会の出欠を大園さんまで～